

平成14年度各種会計決算を認定 明和町環境都市宣言を議決

第3回町議会定例会は9月12日から18日までの会期7日間で開かれ、平成14年度一般会計をはじめ、各種特別会計決算等の認定や明和町環境都市宣言など12案件（町長提出12件）について審議が行われた結果、いずれも原案どおり可決承認されました。その主な内容をお知らせします。

固定資産評価審査委員会 委員に野本和子さん



9月30日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の野本和子さん（71歳・千津井）を再度、同委員に任命することが同意されました。

教育委員会委員に

関口 久さん

9月30日をもって任期満了とな

る教育委員会委員の関口久さん（70歳・新里）を再度、同委員に任命することが同意されました。



明和町環境都市宣言

今日の環境問題は、従来からの産業公害に加え、近年の社会経済活動の進展や住民の生活様式の変化などが原因とされている都市生活型環境問題、さらには地球温暖化や酸性雨などに代表される地球規模での環境問題など複雑多様化

しています。また、身近な自然とのふれあいや快適な環境に対する住民ニーズも高まってきています。このようなことから町では、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会に導くための法的枠組みとして環境基本条例を制定し、環境基本計画の策定に取り組んでいるところです。21世紀は環境の世紀といわれ、快適環境を創造していくために住民・事業者・行政が一体となり、環境問題に真剣に取り組んでいくことを内外に示すため環境都市宣言を行いました。

このようなことから町では、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会に導くための法的枠組みとして環境基本条例を制定し、環境基本計画の策定に取り組んでいるところです。21世紀は環境の世紀といわれ、快適環境を創造していくために住民・事業者・行政が一体となり、環境問題に真剣に取り組んでいくことを内外に示すため環境都市宣言を行いました。

平成15年度

一般会計補正予算

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ895万4千円を追加し、総額を58億7,915万5千円にしました。これは、ミニ市場公募債「めいわ愛町債」発行に係わる経費や奨学資金貸付金追加などに伴う補正です。（ ）は補正後の総額

歳入
 県支出金 18万1千円
 （1億4,782万1千円）
 繰入金 355万円
 （20億7,510万3千円）
 繰越金 522万3千円
 （2億2,322万8千円）

歳出
 民生費 49万4千円
 （7億518万5千円）
 教育費 486万9千円
 （5億9,550万7千円）
 公債費 359万1千円
 （3億6,136万2千円）

平成15年度国民健康保険

特別会計補正予算

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ478万4千円を追加し、総額を8億978万4千円にしました。これは、前年度療養給付費負担金償還金などの追加に伴う補正です。（ ）は補正後の総額

歳入
 繰越金 478万4千円
 （4,587万3千円）

平成15年度介護保険

特別会計補正予算

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ2,246万2千円を追加し、総額を5億116万2千円に